

休校中の課題を出してから3週間がたちました。美術の教科書、美術資料は見てくれたでしょうか？様々な表現方法や作品があったと思います。その中の1つを皆さんに紹介します。これから美術に取り組むにあたって、考えを深めていくきっかけとなってもらえたらと思います。

美術2・3下の教科書の表紙は、一目見ただけではよくわからないかもしれませんが、2011年3月11日の東日本大震災の復興支援策として、未曾有の大災害に見舞われた人々を音楽の力で癒やすことはできないか、との呼びかけに応じた音楽プロデューサー、建築家、彫刻家らの国を超えた協働によって生み出された可動式のコンサートホール「アーク・ノヴァ」です。暖かな色彩と独創的な造形による巨大な空間は、多くの被災者に生きる喜びと苦難を乗り越えていく活力を与える一助となっています。今、こんな世の中だからこそ、芸術だからできること、美術のもつ力についても考えていきたいですね。

3年生になって美術に取り組むにあたって、今までに学んできた表現や鑑賞の力を使い、自分なりの考えをもって、自分自身、他者との関係、生活や社会、自然や環境との関係を深く見つめ、探求して行ってほしいと思っています。

☆ まずはじめの課題では、社会の中で、メッセージを伝えるということについて学びます。

問題意識を形に

美術2・3下 教科書 p16～17

皆さんは今、家でどんなふうに過ごしていますか？休校の期間が長く続くにつれて、当たり前前の生活がなくなってこんなにも大変なことなんだなということを改めて感じているのではないのでしょうか。今、世界中の人々がつらい日々を過ごしていると思います。皆さんと皆さんの大切なひとたちが皆、元気でいられますように。この苦しい時期が、大切な人を想う時間と、再び会う時の喜びとなりますように。STAY HOMEで一緒に乗り越えていきましょう。

そこで、今、時間があるこの機会に、自分たちの周囲や世界に意識を巡らせ、何が起きているのか、何が課題であるのかを考え、作品にしてほしいと思います。

美術には言語を超えて、多くの人に感じたことや考えていることなどを訴える力があります。しかもそれは瞬間的に伝わったり、共有できたりします。世の中で多くの作家、人々が発しているメッセージに対して、それを受け止め、考えつつ、自分の表現したいものについて深く見つめ、探求して行ってほしいと思います。

具体的に何を制作するのかについてはこれから説明する文章を読んで、確認して下さい。

制作するポイント

これまで学んできたことや、興味を持って読んだ本、インターネットやTVなどから、私たちを取り巻く社会的な課題を考え、そこにある問題意識を基に、主題（テーマ）を決め、材料や方法を選び、工夫して表現して下さい。他の表現手段とは違う美術ならではのメッセージの力についても考えてほしいと思います。また、学びのねらいについては美術2・3下教科書p16に書いてあります。これをもとに評価します。

制作する内容、条件について

家にある素材を使って美術2、3下の教科書p16～17、を参考に、p16の右下にあるようなペットボトルを用いた作品を作ってみましょう。ペットボトルはイメージに合わせカットして使います。

作品の大きさは、縦、横、高さがそれぞれ25センチ以内になるようにしてください。

その他の素材や画材、材料については家にあるどんなものを使ってもらっても構いませんが、提出できる素材のもの、他者を傷つけるような内容、素材が含まれていないこと、授業が始まってから、学校に持ってきて提出し、皆で鑑賞や展示をすることを考えた内容のものにして下さい。

作品のアイデアを考える時は、様々なものを参考にするのはいいのですが、創作物には著作権があります。まるっきり同じ、まねをただけの作品にならないように、自分で創作したオリジナル作品になるようにしてください。作品のアイデアを考える時に使う、A4くらいの紙を用意して、アイデアスケッチを描いて下さい。枚数が多くなる場合は、まとめてホチキスなどでとめておくこと。

作品の提出方法について

作品とアイデアスケッチ、感想用紙の提出については初めの授業を予定しています。学年・クラス・出席番号・氏名を、作品は下または底側、アイデアスケッチ、感想用紙は右上に記入して下さい。

制作手順（6時間） ☆毎週の美術の時間割にあわせて1時間ずつ進めて下さい。

- 1 時間目：教科書、美術資料、美術2・3上のp40、41のポスターや家にあるもの、インターネットや本、TV、今まで美術館で見た作品など、あらゆるものを参考に調べ、主題（テーマ）を決める。参考になるアイデアをA4の紙にメモしておくといよい。（関心意欲・発想・構想・鑑賞）
- 2・3 時間目：自分の表現したいものに合う言葉や素材、色、デザインを考える。身の回りにおけるあらゆるものを材料に考え、使えるものを集めて組み合わせてみる。イメージが固まったらA4くらいの紙にアイデアスケッチを描く。（関心意欲・発想・構想）
※アイデアスケッチとは・・・自分の頭のなかにある、こう作りたいというものを人に説明できるように、絵や言葉で紙に描いたものです。使う材料についても記入して下さい。色をつけられる場合はつけた方がよりわかりやすいです。
- 4・5 時間目：ペットボトルの中に入れる材料や使う用具を準備し、伝える内容に合った形や色彩、素材を使った作品になるよう、安全に留意して、工夫して制作する。
イメージに合ったペットボトルのカットになっているか、主題にあった素材、表現になっているかを確認し、よりよくなるよう修正する。（関心意欲・技能）
- 6 時間目：完成した自分の作品が伝えたいメッセージやよいところ、学んだこと、工夫した点、参考になったことなどをA4の用紙にまとめる。（関心意欲・鑑賞）

さらに学びたい！という人については、Eテレで放送されているNHK 高校講座の美術Iでも、制作を進めていく上で役に立つこと、教科書や美術資料に載っているものの詳しい説明がわかりやすく映像化されているので、インターネットやテレビで見ることができるときは参考にしてみるといいですよ。

それでは、素敵な作品に出会えるのを楽しみにしています！